



岡山大学記者クラブ

文部科学記者会

科学記者会

御中

令和 8 年 4 月 2 日

岡 山 大 学

脳死下臓器提供のプロセスの実態を解明 ～全国 16 施設の解析で施設間のばらつきが明らかに～

◆発表のポイント

- ・ 脳死下臓器提供の過程に施設間のばらつきがあることを明らかにしました。
- ・ 提供経験の多い施設では、家族の意思決定により時間をかける傾向がみられました。
- ・ 多職種連携の重要性と、医療体制の標準化の必要性が示唆されました。

近年、国内の脳死下臓器提供数は増加傾向にあるものの、提供経験のある施設は全体の約 3 割にとどまり、地域や施設間で体制に大きなばらつきがあることが知られています。しかし、その詳細な実態は十分に明らかにされていません。

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）救命救急・災害医学の湯本哲也講師、中尾篤典教授らの研究グループは、全国 16 の救命救急センターなどが参加する「J-RESPECT study」において、脳死下臓器提供に至るまでのプロセスの実態を明らかにしました。

本研究では 2010 年から 2023 年までの 13 年間における 204 例を解析し、施設ごとに臓器提供に至る過程に大きなばらつきがあることを示しました。特に、提供経験の多い施設では、家族が臓器提供を決断するまでにより長い時間をかけていることが分かりました。本研究は、臓器提供をめぐる医療体制の課題を明らかにするとともに、家族が十分な情報をもとに意思決定できる環境整備の重要性を示すものです。今後は、より全国どこでも、平等に質の高い専門医療を受けられる体制構築と社会的理解の促進につながることを期待されます。

この研究成果は 3 月 26 日、米国集中治療医学会雑誌「*Critical Care Medicine*」に掲載されました。

◆研究者からのひとこと

臓器提供は特別な医療ではなく、救命医療の延長線上にある選択肢の一つです。本研究を通じて、現場でどのようなプロセスが行われているのかを可視化できたことは大きな一歩だと感じています。今後は、患者さんやご家族にとってより良い意思決定を支える医療体制の構築につながっていただければと思います。



湯本哲也講師



PRESS RELEASE

■発表内容

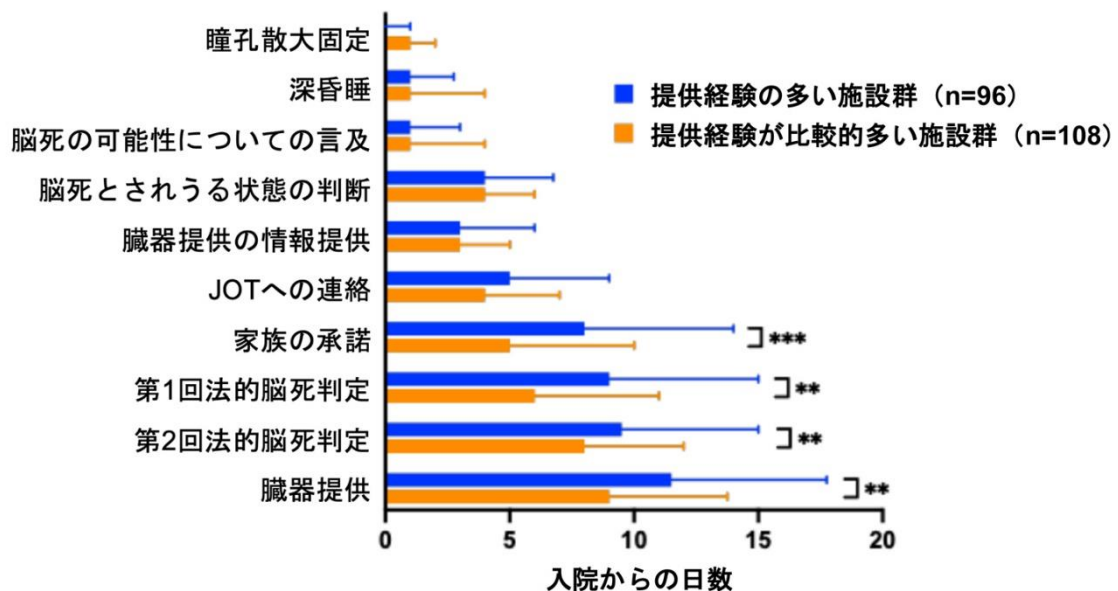
<現状>

日本では脳死下臓器提供の実施施設※₁)は増加しているものの、実際に提供経験のある施設は限られており、施設間で体制や経験に大きな差があります。また、臓器提供に至る過程は複雑であり、家族への情報提供や意思決定、集中治療管理、医療者間の調整など多くのプロセスを含みます。これらの実態はこれまで十分に明らかにされていませんでした。

<研究成果の内容>

本研究では、全国 16 施設における 204 例の脳死下臓器提供症例を解析しました。その結果、臓器提供に至るまでの期間は中央値 10 日であった一方、提供経験の多い施設ではより長い傾向（12 日 vs. 9 日）がみられました。さらに詳細に分析すると、脳死とされうる状態の判断や臓器提供の説明までの時間には差がない一方で、家族が提供を承諾するまでの期間に差（8 日 vs. 5 日）が認められました。また、経験の多い施設では多職種カンファレンスの実施回数が多いことも確認されました。これらの結果は、家族の意思決定を支える過程において、多様なアプローチが取られている可能性を示しています。

入院から臓器提供までのプロセス



<社会的な意義>

本研究は、脳死下臓器提供に至る過程の実態を体系的に明らかにした初めての研究の一つです。臓器提供は社会全体で支える医療であり、医療者が適切なタイミングで情報を提供し、家族が十分に考える時間を持つことが重要です。本成果は、臓器提供に関する医療体制の標準化や質の向上、さらには社会的理解の促進に貢献することが期待されます。今後は、地域差や施設差を縮小し、より多くの患者・家族の意思決定を支える体制の構築が求められます。



PRESS RELEASE

■論文情報

論文名 : Institutional Variability in Brain-Dead Organ Donation Processes and Practices: A Multicenter Cohort Study

掲載誌 : *Critical Care Medicine*

著者 : Tetsuya Yumoto, Hiromichi Naito, Mineji Hayakawa, Shoji Yokobori, Kei Nishiyama, Takahiro Atsumi, Osamu Tasaki, Junya Tsurukiri, Mariko Hayamizu, Shimon Murahashi, Munchiro Hayashi, Takeshi Nishimura, Yukari Goto, Hiromichi Narumiya, Atsushi Mizutani, Mamoru Miyajima, Junya Shimazaki, Takeshi Miura, Nozomu Shima, Kazuki Deuchi, Hitomi Nakayasu, Hitoshi Kano, Takashi Yorifuji, Atsunori Nakao; Japan Comprehensive Process for End-of-Life Care and Organ Donation after Brain Death (J-RESPECT) study group

D O I : 10.1097/CCM.00000000000007120

U R L :

https://journals.lww.com/ccmjournals/fulltext/9900/institutional_variability_in_brain_dead_organ.795.aspx

■補足・用語説明

※1) 脳死下臓器提供の実施施設 : 全国の大学附属病院、救命救急センター、脳神経外科の基幹施設などで実施可能 (2024 年度時点で 934 施設)。提供施設や提供事例は、日本臓器移植ネットワークのウェブサイトで確認できます。

【日本臓器移植ネットワーク】 <https://www.jotnw.or.jp/>

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院医歯薬学域 救命救急・災害医学講座

講師 湯本 哲也

(電話番号) 086-235-7426

(FAX) 086-235-7427

